

【児童に関する質問についての分析・考察】※紙面が限られているので、成果よりも課題に特化して記載しています。

（質問2・6について）

児童と保護者・職員の間で大きな意識差が見られました。挨拶については、今年度重点事項の一つとして校長を中心に学校全体で取り組んでいます。それにより多くの児童が意識を高め、日々の生活の中で取り組んだ結果、挨拶や返事ができているという実感や手応えを感じているようです。そういった児童の実感（自己肯定感の高まり）を大切に伸ばしていくためにも、私たち大人は自分の物差しで判断・評価するのではなく、まずは子どもたちの小さな成長の兆しや、がんばろうという内面的な変化に気づき、認め伸ばしていく、そういう見守り方が必要なようです。学校でも職員がまず率先垂範で気持ちの良い挨拶、相手の目を見た返事を実践し、子どもたちに見本を見せていこうと思います。また、意見や考えを友達や教師、全体に伝える機会をより多くつくり、子どもたちの前向きな変化や頑張りを見出し、認め褒めていこうと思います。ぜひ保護者の皆さんもご家庭内やご近所で子どもたちと気持ちの良い挨拶をかわし、子どもたちの実感や手応えをより確かなものに育ててあげてください。

（質問4について）

およそ3割の児童が相談しづらいと感じているという実態（回答結果）を、周りの大人（学校職員・保護者）はきちんと受け止め、困り感を感じている子に気づき、声をかけ寄り添っていく必要があることがわかりました。学校では、アンケートや教育相談、タブレットを利用した個別のアプローチなどに学校全体で取り組みます。また、休み時間等に気になる子に声をかけたり、一緒に遊んだりする時間をつくる等、個に寄り添う取り組みも工夫していこうと思います。とは言え、やはり子どもが本当に相談したい相手は親・家族です。ご家庭でもお子さんの顔（表情）を見る時間や、一緒に話す時間、一緒に何かをする時間等をこれまでよりもちょっと多くしてみたいかがでしょうか。また、学校・家庭それぞれの「気づき」を共有していけたらと思います。ご家庭でお子さんについて何か「気づき」があったときは、ぜひご連絡ご相談ください。

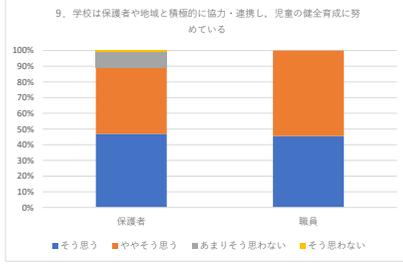
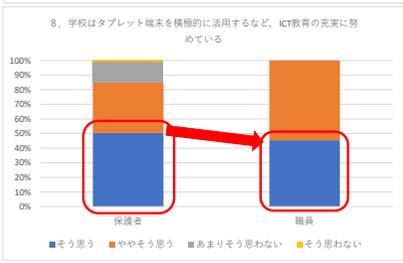
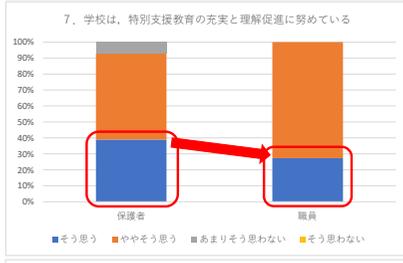
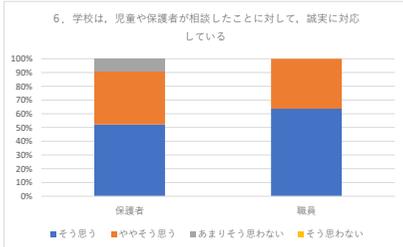
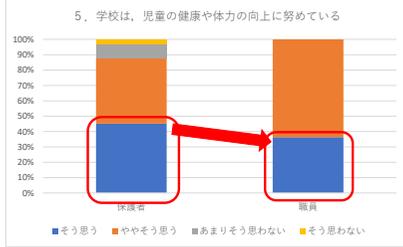
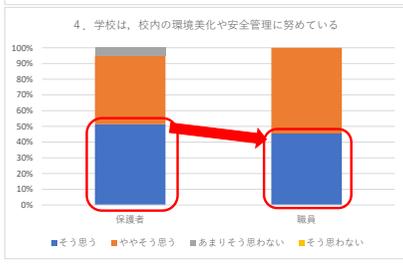
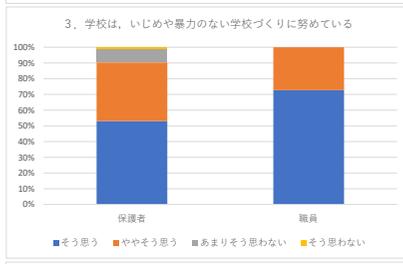
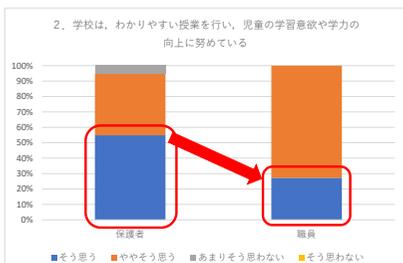
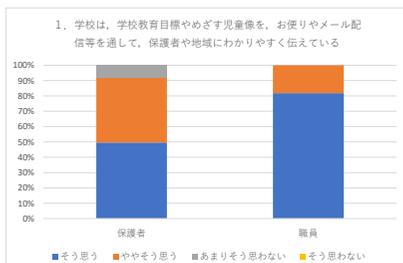
（質問7について）

運動や体力への取り組みについては、記述式の回答でもマラソン大会実施の要望が何件も見られました。もっと運動に取り組み体力を高めてほしいという親の願いがある一方で、**子どもたちは自分たちの取り組みを肯定的に評価**しています。マラソン大会やそのための練習期間は、それぞれに良さや児童に与える教育的価値がいくつもあります。一方で1か月以上にわたって子どもたちの休み時間（職員にとっては休憩や児童と個別に接する時間）がなくなること、長距離走が苦手な子にとっては強制的に毎日それに取り組まなければならない期間が続くことなどのマイナス面も生じます。また、近年の気候変動や感染症の流行等の状況下で、長期間全児童の体調を管理する必要がある行事の実施は非常に難しくなっています。

学校としては、学習だけでなく運動についても、個に応じた指導や主体的に取り組む活動の実現を目指しています。このような諸々の事情や観点から、体力（持久力）については体育の授業の中で少しずつ・継続的に高めていくというカリキュラムにしました。体力テストの結果等でその取り組みを分析・評価していこうと思います。ご家庭でも、一緒に遊んだり運動したりする機会を増やしたり、地域のスポーツイベントや大会に参加してみたりと、個々のお子さんの願いに寄り添っていく方法を話し合ってみてはいかがでしょうか。学校・家庭・地域が協力して1人1人の子どもたちにあった運動、体力づくりを目指していきたいです。

（質問8について）

ここで**児童と大人（学校職員・保護者）との乖離（意識差）**が見られます。私たち大人の方から歩み寄り、子どもたちの内面（何をどう感じ・考えているのか）に気づき・理解していく必要があると考えられます。学校では、子どもたちが感じ考えている夢や将来の希望を、子どもたち自身がより広げたり深めたりできるよう、キャリア教育をベースにさまざまな学習活動の中で工夫していきます。この点についてもやはり子どもたちにとって最も良い影響を受けるのはおうちの方ではないでしょうか。ぜひご家庭でも、ご自身が小学生だった頃の夢や将来の希望について、また現在のお仕事や人生についての展望や夢などについてお子さんにお話しいただくと、子どもたちの夢や希望がふくらみ、それを目指して前向きにがんばれる気持ちを高めていただければと思います。



【学校に関する質問についての分析・考察】
（総括して）
 どの質問についても、保護者からほぼ90%前後の肯定的回答を得ることができています。本校の教育活動に一定の理解と信頼を得られていると考えることができ、職員一同にとって励みとなる、また今後の糧・力となる結果となりました。今後の教育活動も、保護者の皆さんに活動の目的や内容を丁寧に説明していくことで理解を深めてもらい、学校と家庭・地域が協力して子どもたちを育てていく「地域ぐるみで子どもたちを支えていく」体制を目指していきたいと思えます。

（今後に向けて① より強く確かな保護者との信頼・協力体制を築く）
 「そう思う」（より強い肯定的回答）と回答する保護者の割合が、70%程度（3人のうち2人が支持してくれている）で推移していくことを目標に工夫改善に努めていこうと思えます。このような高い目標を達成していくためには、より一層、保護者の皆さんの忌憚ないご意見やアイデア、そして共に子どもを育て、学校をつくっていくという協働体制づくりが欠かせません。よろしくをお願いします。

（今後に向けて② 職員の自信や主体性のより一層の向上）
 「**そう思う**」（より強い肯定的回答）と回答する**職員の割合が、保護者のそれよりも下回っている項目**が見られました。自らの職務に責任をもち、主体的に課題意識をもって取り組んでいるからこそ、厳しく自らの取り組みを評価しているとも考えられますが、まず何よりも職員が自分たちの教育活動に自信をもち、目標に向かって前向きに取り組む、胸を張ってそれを子どもたちや保護者の皆さんに発信していくことが、より良い学校づくりにつながっていくと考えます。
 そのために、「単年度ごとに達成可能な具体的な目標を掲げ、全職員でそれを共有し推進していく」などの工夫改善を行っていきます。

※記述式でいただいたご意見やご要望については、校内で共有し、学校全体の取り組み、または個々の児童対応等で参考にさせていただきます。ご回答いただき心から感謝申し上げます。今後も子どもたちのため、学校のためになるご意見をぜひお聞かせください。